

あなたの種いもには、 「合格証票」がついていますか？

馬鈴しょ（ジャガイモ）は、種いもの良し悪しが収穫に大きく影響しウィルスや害虫に感染した種いもを植えると翌年以降も影響を及ぼします。

ジャガイモシストセンチュウは、根の中に入り込み養分を吸収して、収穫量を大幅に減らしてしまう害虫で一度畑に発生すると完全に根絶させることができません。

男爵薯などの抵抗性の無い品種は生産が困難になります。

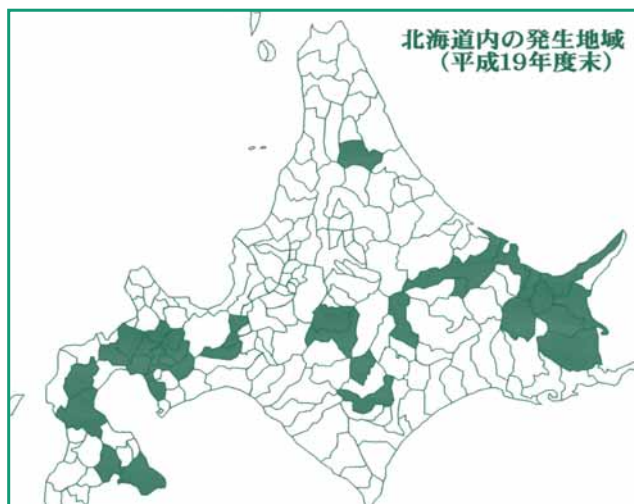
種いもは、害虫や病気が無いか検査が行われ、合格証票が発給された種いもだけが販売されます。

また、北海道では種いもの流通を適正に行うため「種馬鈴しょ生産販売取締条例」を制定し、登録をしなければ種いもの取扱ができません。



↑
検査合格証票

ジャガイモシストセンチュウの 発生地域が拡大しています



道内のジャガイモシストセンチュウの発生地域は、平成19年度末でおよそ1万ヘクタールとなっています。

石狩管内では、平成18年度に江別市（大麻、西野幌及び東野幌地区）、恵庭市（柏木町、下島松、中島松及び西島松地区）で発生が確認され、平成20年度には、当別町（川下町及び若葉地区）、北広島市（大曲、北の里、西の里椴山及び南の里地区）が発生地域に追加されました。

発生地域から土壌の移動は、シストセンチュウを持ち込む恐れがあります。
発生地域で使用した機械は十分に洗浄するなどの対策が必要です。

問 い 合 わ せ 先

札幌市農業支援センター

Tel. 787-2220